

議会だより



3月の
定例会

- ② 令和6年度当初予算
ふるさとの復興・再生予算可決
- ⑤ こんなことが決まりました
3月定例会・4月臨時会
- ⑧ ズバリ!! 町政を問う
2議員が質問
- ⑯ 全員協議会報告
リフレ富岡跡地の利活用を共に考える



富岡町議会の
ホームページはこちらから

令和6年度 当初予算

ふるさととの復興

・再生 予算可決

《一般会計 151億円 特別会計 45億円 総予算 196億円超》

◆営農再開支援水利施設等保全及び農業基盤整備促進事業

安定的な農業用水の確保に向け、水利施設の保安全管理のため排水路等水利施設の除草や堆積土砂の撤去、施設の補修などの保全工事を行います。また、速やかな農業再開を最大の目標とし、農地基盤整備を実施します。

<令和6年度予算額…6億2,566万円>



令和6年度に整備予定の
①椿屋排水路及び②基盤整備予定地

◆桜まつり及び桜保全事業

令和6年度は震災後初めて夜の森公園が桜まつりのメイン会場となり、富岡第二中学校跡地や桜並木などで広くイベントが催されました。また、桜の保全事業では町内への計画的な桜の植樹工事等を実施します。

<令和6年度予算額…1億692万円>



桜の植樹を含め保全に注力

◆生涯学習及び生涯スポーツ振興事業

各種体験教室や処理水の海洋放出に対する風評払しょくのための町内ツアー等の実施、また、補助事業として公益社団法人富岡町さくら・文化スポーツ振興公社にて、ジュニアランクラブや各種サークル、セミナー事業等を実施します。

<令和6年度予算額…1億224万円>



令和5年度実施のそば打ち体験
(令和6年度も実施予定)

定例会の あらまし

令和6年3月定例会は、3月6日から11日までの6日間の会期で開催しました。

令和6年度一般会計及び特別会計の当初予算をはじめ、令和5年度の補正予算、条例の制定及び改廃、人事案件など、計32件の議案を慎重に審議し、全会一致によりすべて原案のとおり可決しました。

一般質問では2議員が登壇し、町執行部体制のあり方や今後直面する課題等について伺いました。

【令和6年度 施策の3本の柱】

- ◎ 地域経済を好循環させる農業と産業の育成
- ◎ 地域全体の賑わいを形作る帰還と移住の促進
- ◎ 進んで楽しく学ぶ子どもを地域で育てる環境づくり



【令和6年度 主な事業】

◆移住・定住推進事業

移住相談窓口や、富岡町への移住を検討する方に実際に町内での生活を体験してもらうお試し住宅やサテライトオフィスの運営、また、空き家を活用した住まいの確保支援事業の対象拡大のための整備・検討などを行います。

<令和6年度予算額…2億796万円>



移住相談窓口「とみおか暮らし情報館」
(旧 竹村写真館)

◆防火防犯パトロール事業

とみおか守り隊等による町内一円のパトロールを継続実施します。また、復興再生拠点区域の解除に伴い、パトロール等の対策を強化しています。

<令和6年度予算額…6億7,378万円>



令和5年11月30日に行われた防火防犯出動式



新年度予算がどのように計画されているか審議し、質疑が行われました。

議員が切り込む!! 質疑応答

問 財政調整基金と町勢振興基金の繰入が大きいですが、どのような事業に充当するのか。(堀本典明)

答 総務課長
財政調整基金は一般財源のため事業への充当はありません。町勢振興基金については、主なものとしては体育施設管理、生涯スポーツ事業、社会福祉事業といった町勢振興を目的とした事業に充当します。

問 営農再開により町の活性化に繋がるかと考えるが、補助金を多く利用してもらうための町の対策は。(佐藤教宏)

答 産業振興課長
県において地力回復のための堆肥に対し2年間の補助金制度があります。富岡町の支援として、県の補助期間が終了したからも地力回復のための支援メニューを構築するなど、富岡町で農業が営みやすい体制づくりを進めたい考えです。



問 移住定住促進事業委託料について、令和6年度の事業内容は。(堀本典明)

答 企画課長
交付金等を積極的に活用し、4本立てで進めます。
・移住定住者の受け入れ体制の強化
・情報発信体制の強化
・交流関係人口の拡大
・住まいの確保支援



移住定住を促進



問 公園整備の内容は。(遠藤一善)

答 都市整備課長
夜の森の公園環境の整備計画ということで、周辺の施設も利用しながら賑わいづくりができるよう計画し、計画案については議会へ提出しながら進めます。また、富岡公園の進入道路および駐車場の整備を予定しています。

こんなことが決まりました

人事案件

新たな副町長に任命

前副町長の辞任に伴い、宮川大志さんの任命を可決しました。

任期は令和6年4月1日からの4年間です。

(3月定例会) 全会一致 原案可決



宮川 大志さん

教育委員会委員に再任

富岡町教育委員会委員の任期満了に伴い、矢内秀行さんの再任を可決しました。

任期は令和6年4月1日からの4年間です。

(3月定例会) 全会一致 原案可決



矢内 秀行さん



【宮川大志さんのあいさつ】

副町長という大任を仰せつかり、その重責に身が引き締まる思いです。

町長を補佐し、町政発展のため、全力で取り組んでまいります。

議員の皆さまのご指導、ご鞭撻のほど、何卒よろしくお願ひ申し上げます。

【矢内秀行さんのあいさつ】 (一部抜粋)

もうすぐ震災から13年になります。現在、様々な事情で県外に住んでおりますが、教育委員となつて富岡町に来る機会が度々ありました。復興に向かっているという話を聞いたり、目で見たりしながら、肌で感じていたところです。

教育という面から、新しい富岡町づくりのための復興の一助となればと考えております。

人権擁護委員として適任

人権擁護委員の辞任に伴い、吉田恵子さんが適任であるとの意見を付記し、答申することに決しました。

任期は令和6年7月1日から3年間です。

(4月臨時会) 賛成多数 原案可決

表彰

功労表彰

- 宇佐神幸一 議員
- 安藤 正純 議員
- 遠藤 一善 議員

自治功労者表彰

高橋 実 議員

令和6年1月19日に富岡町表彰式が開催され、その席上で宇佐神幸一議員、安藤正純議員、遠藤一善議員が功労表彰を受けました。

また、令和6年2月26日に全国町村議会議長会定期総会が開催され、その席上で高橋実議員が自治功労者表彰を受けました。

指定管理者の指定

富岡町共生型サポート拠点施設

《指定管理者》

社会福祉法人光美会
理事長 常盤 峻士
(3月定例会)
全会一致 原案可決



富岡町共生型サポート拠点施設(さくらの郷)

富岡町総合福祉センター

《指定管理者》

社会福祉法人
富岡町社会福祉協議会
会長 山本 育男
(3月定例会)
全会一致 原案可決



富岡町総合福祉センター

富岡町地域交流館

《指定管理者》

公益社団法人
富岡町さくら文化・
スポーツ振興公社
代表理事 堀川 章仁
(3月定例会)
全会一致 原案可決



富岡町地域交流館(わんぱくパーク)

訂正とお詫び

令和6年1月18日発行の「とみおか議会だより217号」の記載について左記のとおり誤りがありましたので、お詫びして訂正いたします。

【P5】
一般会計補正予算の表中

【誤】	体育施設管理費(委託料)	3,007万円増
	その他	1億4,191万円減
【正】	体育施設管理費(委託料)	3,007万円減
	その他	8,177万円減



令和6年第1回定例会で 審議した議案とその結果



上程議案・概要	結果
◆専決処分の報告及びその承認	
議案第1号 令和5年度富岡町一般会計補正予算(第5号)	全会一致 原案可決
議案第2号 富岡町手数料条例の一部を改正する条例	全会一致 原案可決
◆条例の制定・改廃	
議案第4号 富岡町東日本大震災等による被災者に対する令和6年度の町税等の減免に関する条例について	全会一致 原案可決
議案第5号 指定居宅サービス等の事業の人員、設備及び運営に関する基準等の一部を改正する省令の施行に伴う関係条例の整備に関する条例について	全会一致 原案可決
議案第6号 富岡町土地改良施設管理条例について	全会一致 原案可決
議案第7号 富岡町放課後児童クラブ施設の設置等条例について	全会一致 原案可決
議案第8号 職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例について	全会一致 原案可決
議案第9号 富岡町なかよし広場設置条例の一部を改正する条例について	全会一致 原案可決
議案第10号 富岡町介護保険条例の一部を改正する条例について	全会一致 原案可決
議案第11号 富岡町国民健康保険条例の一部を改正する条例について	全会一致 原案可決
議案第12号 富岡町社会体育施設条例の一部を改正する条例について	全会一致 原案可決
議案第13号 富岡町滝川ダム建設対策基金条例を廃止する条例について	全会一致 原案可決
◆その他	
議案第17号 双葉地方広域市町村圏組合理約の一部を改正する組合理約について	全会一致 原案可決

※第1回定例会における「令和6年度当初予算」、「人事」、「指定管理者の指定」、「令和5年度補正予算」は別頁に詳細を掲載しております。また、各議案については富岡町ホームページにおいても報告しておりますので、ご参照ください。

一般会計 補正予算

事務事業の精査等による減額 《1億4,186万円を減額補正》

事務事業の精査等により1億4,186万円の減額補正を行い、総額172億1,874万円となりました。補正のあった主な事業は下表のとおりです。

事業内容(費目名)	補正予算額
基金積立金(6基金)	4億3,053万円増
他会計繰出金(4会計)	4,196万円減
移住・定住推進事業費(委託料 他)	6,438万円減
予防接種事業費(委託料 他)	2,124万円減
営農再開支援事業費(補助金 他)	2,428万円減
農業復興対策事業費(補助金 他)	3,159万円減
被災地域農業復興総合支援事業(工事費 他)	2,405万円減
営農再開支援水利施設等保全事業(委託料 他)	1,290万円減
道路新設改良事業費(用地購入費 他)	1,191万円減
放課後児童クラブ費(工事費 他)	3,259万円減
体育施設管理費(工事費 他)	2,257万円減
その他	120万円減



つつみ公園の一面に植樹された桜

問 桜の植樹事業について、富岡町全体を見通しての予算計上だったのか。箇所を定めての計画か。富岡町の桜の全体像を見据えた計画をもらいたい。が町の考えは。(遠藤一善)

答 産業振興課長
富岡町において桜は貴重な財産と考えており、全体像を見据えた計画が必要と認識していますので、今後、都市整備課と連携をとりながら計画的な植樹等を進めていきたい考えです。



インターンプログラムの成果発表会

問 移住・定住の相談窓口の運営業務において、東東圏での移住相談会への出席に係る経費が予定より低かったこと、大学生のインターンプログラム事業で年間2回を予定していたところ1回の実施であったこと、太陽光パネルなど新エネルギーシステム設置の、ご家庭に対する補助件数が少なかったこと、住まいの確保事業での実績が少なかったこと等が減額の主な内容です。

答 企画課長
移住・定住の相談窓口の運営業務において、東東圏での移住相談会への出席に係る経費が予定より低かったこと、大学生のインターンプログラム事業で年間2回を予定していたところ1回の実施であったこと、太陽光パネルなど新エネルギーシステム設置の、ご家庭に対する補助件数が少なかったこと、住まいの確保事業での実績が少なかったこと等が減額の主な内容です。

問 移住・定住事業委託料の減額が大きい。内容は。(堀本典明)

一般会計補正予算

議員が切の込む!!
質疑応答





佐藤 啓憲 議員

問 町内生活における更なる利便性を

答 「誰もが住みやすい町」を目指します

答 町長 議員ご指摘の3点は、町政懇談会アンケートにおいても高い回答率となっており、町内でのくらしに直結する課題でありますので、これらの取り組みについてさらに力を入れ、「誰もが住みやすい町」を目指します。

問 令和5年度において復興庁で行われた、住民意向調査より「既に富岡町で生活している」と回答された方から富岡町での今後の生活において必要だと感じていることは、①医療機関(診療科)の拡充②商業施設の再開・充実③防犯体制の強化この3点が最も多く回答されている。この結果を受けて、町はどのように分析し検討しているか。



富岡町に設置されているふたば医療センター附属病院

答 健康づくり課長 専門医療科の再開や開設については、郡内各町の居住者数の関係、交通手段及び安定した経営面での課題が想定されます。今後、中核的病院の開設が予定されていますが、ふたば医療センター附属病院の在り方についても関係機関と協議を重ねていきます。

問 人工透析や産婦人科等、専門の医療機関(診療科)の拡充と、ふたば医療センターとの連携強化を。

問 商業施設の充実について、今現在、食品等は特にさくらモールを利用してはいる。仕事を休んでから、帰宅時間が少なくて済むという声が多い。閉店時間の延長を要望する。

答 町長 FIERE(エフレイ)への参画を希望する大学や民間事業者等に情報提供を行いながら、町内をフィールドとした実証事業や研究開発、人材育成

問 国内外の研究者や関係企業の誘致、人材確保やその家族も含めた生活環境の整備、こうしたものが町としても重要になってくると考える。震災後も特に、義務教育施設の充実と福祉・介護面に力を入れてきた町であることから、それらを強くアピールして選ばれた町にしてもらいたい。

問 福島国際研究教育機構における町の関わりは

答 各事業に積極的に参画

答 産業振興課長 さくらモールの営業時間延長については町政懇談会でも挙げられています。各種課題があります。従業員の確保についてはシフト管理での対応が難しいか等、相談を進めており、継続的に要望してまいります。

問 ポリスメールより、警察からの空き巣対策として、「しつかりと施錠」補助器具による「二重ロック」ガラスの強化フィルムの取り付けが有効であるとのこと。町でも現行の防犯カメラのみならず、有効な防犯設備やグッズの補助を追加してはどうか。

答 生活環境課長 現状は防犯カメラの設置のみ助成の対象となっておりますが、様々な防犯対策を対象として広げることは必要と考えますので、今後検討していきます。

答 企画課長 第三次復興計画の検討委員会の場でも、夜の森地区の良好な住環境の整備という話が出ています。

問 これまで富岡地区は、富岡駅前から曲田地区にかけて区画整理を実施してきた。今後、新たな宅地利用促進と居住環境整備のために、夜の森地区も土地区画整理を進めてはどうかと思うが、そのような計画はあるか。

FIERE(エフレイ)の研究者を誘致するため、夜の森地区のにぎわい創出のためにも、駅前の住宅地整備等にも取り組んでまいります。



2020年のJR再開通に合わせ開所した新しい夜ノ森駅(写真は駅西口)

一般質問は、議員が町の行財政全般にわたって執行機関に問題点をだし、所信の表明を求めて政治姿勢を明らかにするものです。

ズバリ!! 町政を問う



2議員が質問

3月定例会の一般質問に2議員が登壇し、町の対応や考えなどを問いました。この紙面では、質問した順に質疑応答の要点をお知らせします。

1 佐藤 啓憲 議員 9

- 町内生活における更なる利便性を
- 福島国際研究教育機構における町の関わりは



2 渡辺 正道 議員 10

- 災害時、福島第二原子力発電所港湾の利用も想定を
- 少人数学校の強みと課題は



山本 育男 町長

岩崎 秀一 教育長

動画配信中!



※QRコードを読み取ると各議員の一般質問動画が見られます。



※山本町長の一般町政報告はこちらから

原子力等 特別委員会

【教育の徹底を①】



安藤正純議員

昨年からヒューマンエラーが続いている。人員不足は承知しているが、徹底した教育を行ってから現場に配置すべきでは。

ヒューマンエラーの低減を、教育訓練を通じて徹底していきます。更には「人」の対策だけに頼らず、「設備面」での対策も併せて再発防止に努めます。



東京電力HD(株)

【教育の徹底を②】



東京電力HD(株)

今回の放射性物質を含む系統水の漏えい事案にも言えるが、作業員の認識不足、経験不足、確認不足が多々あるのではないかと。

教育も一度きりでは定着しないので、定期的に繰り返し実施していくことが必要だと考えます。



高野匠美議員

【作業員の安全確保対策は】



宇佐神幸一議員

1号機燃料取り出しに向けて原子炉建屋に大型カバーの設置が進められているが、壁面に一部高線量の場所があるため作業員の安全対策の徹底を。

基本的に遠隔作業ですが、人による作業が必要な部分は環境的に危険が伴うため安全対策が重要と考えます。高線量の部分は洗浄と遮蔽などを組み合わせた線量低減対策を実施し、作業員が近づいても問題ないことを確認してから進める等しています。



東京電力HD(株)

【福島第二廃炉も安全管理を】



東京電力HD(株)

福島第二原子力発電所の廃炉措置の準備についても、福島第一同様に安全対策を徹底してもらいたい。

これまで福島第一で起こっているトラブルについては第一のみではなく第二でも起こり得ると考え、東京電力全体に水平展開するべく進めていきます。



遠藤一善議員

問 災害時、福島第二原子力発電所港湾の利用も想定を

答 事業者と前向きに協議できる状況



渡辺 正道 議員

町長 発災から一定の時間が経過した後、かつ安全性

問 災害時、陸路が寸断された場合、災害対応として港湾(富岡漁港)の使用は想定しているのか。又、福島第二原子力発電所の港湾の利用も想定して調整しておくべきと考えるが。

町長 町民の安全な避難路の確保と、緊急輸送路の確保に努めます。

問 近年多発する大規模災害に13年前の3月11日当時を思い出し、自然災害の怖さを改めて認識した。そこで、震災・防災対策における緊急輸送路としての指定路線の体系的な整備状況について、町の現状は。

町長 町民の安全な避難路の確保と、緊急輸送路の確保に努めます。

問 町の展望を考えた際、第二原子力発電所の港湾を町勢発展のために利用できないか、執行部や議会としても今後検討していくべきと考えるが。

町長 町民の安全な避難路の確保と、緊急輸送路の確保に努めます。

問 富岡漁港につきましては港の規模等により大型船舶の入港が難しい状況です。福島第二原子力発電所の港湾施設は、発電事業の専用港湾でありますが、「道路が寸断された際に、福島第二の港湾の活用が有効と思われる場合は、人身安全が十分に確保できることを前提とし柔軟に対応する。」旨の回答を事業者より得ており、敷地内港湾の活用を前向きに協議できる状況にあります。

問 確認されていることを前提とすれば、港湾の活用について一考の余地があると考えます。富岡漁港につきましては港の規模等により大型船舶の入港が難しい状況です。福島第二原子力発電所の港湾施設は、発電事業の専用港湾でありますが、「道路が寸断された際に、福島第二の港湾の活用が有効と思われる場合は、人身安全が十分に確保できることを前提とし柔軟に対応する。」旨の回答を事業者より得ており、敷地内港湾の活用を前向きに協議できる状況にあります。

町長 町民の安全な避難路の確保と、緊急輸送路の確保に努めます。

問 全国小中学校学力テストにおける本校の結果について伺いたい。

町長 町民の安全な避難路の確保と、緊急輸送路の確保に努めます。

問 開校2年を経過する富岡小・中学校における成果と問題点を伺いたい。

問 少人数数学校の強みと課題は

町長 町民の安全な避難路の確保と、緊急輸送路の確保に努めます。

問 この結果をどのようにとらえ、どのような対策をとるのか。

町長 町民の安全な避難路の確保と、緊急輸送路の確保に努めます。

問 不登校児童・生徒の有無、対応について伺いたい。

問 不登校児童・生徒の有無、対応について伺いたい。

町長 町民の安全な避難路の確保と、緊急輸送路の確保に努めます。

問 スクールカウンセラーとスクールソーシャルワーカーの本校における活動内容について伺いたい。

町長 町民の安全な避難路の確保と、緊急輸送路の確保に努めます。

問 不登校の定義に当てはまる児童・生徒については若干名いますが、本校において完全不登校と言われる児童・生徒はいません。教頭や担任教師が保護者と連絡を密にし、スクールカウンセラーとの連携を図りながら個々の児童・生徒に合わせたきめ細やかな対応に努めています。

問 不登校の定義に当てはまる児童・生徒については若干名いますが、本校において完全不登校と言われる児童・生徒はいません。教頭や担任教師が保護者と連絡を密にし、スクールカウンセラーとの連携を図りながら個々の児童・生徒に合わせたきめ細やかな対応に努めています。

総務文教常任委員会

総務文教常任委員会が調査した主な事業について報告します。

- 〇 議会議務局
- 〇 生涯学習課
- 〇 教育総務課
- 〇 住民課
- 〇 出納室
- 〇 税務課
- 〇 企画課
- 〇 総務課
- 〔所管課〕



※常任委員会とは①

本会議前に議案などを事前に審査したり、各課の事務の執行状況などを調査する場です。

＜ふるさと納税で町のPRを＞

Q 就職や避難等で町外へ転出した方を含め、ふるさと納税による町のPRを有効活用して富岡町に目を向けてもらう等、応援者を増やす工夫を。

A 魅力ある特産品や農産物、加工品のPRが必要であり、今後も観光協会や産業振興課とも協力してPRをしたい考えです。
返礼品に限らず、町の魅力を発信することで復興に協力して下さる方への効果的な情報発信に努めます。

【総務課】

返礼品については町HPからも確認できるっぴ♪



＜有効な基金運用・管理を＞

Q 用途の自由度が高い基金は維持管理ではなく新規事業やソフト事業に活用すべきと考える。基金計画をしっかり立て、今後検討してもらいたい。

A 今後の基金管理について、優先順位を見定めて有効に活用できるよう努めます。

【総務課】

＜新規事業のその後について＞

Q 昨年9月に開所したサテライトオフィス「とみおかワーキングベース」の利用者数は。

A 1階部分のコワーキングスペース等では約50件の利用がありました。2階の専用個室については本年1月からの2団体に加え、4月から利用の予約が1件入っています。



明るく開放感のあるコワーキングスペース



2階は利用人数に合わせた10部屋の専用個室

【企画課】

＜子どもたちの交流と学びの機会継続を＞

Q PinSプロジェクトは、令和6年度も継続していくのか。

A 令和6年度も継続します。学校と調整し、2学期からプロフェッショナル転校生として迎える予定です。令和5年度は月に1週間程度の頻度で来校して、子どもたちと交流しています。



©2023鈴木宇宙



©2023鈴木宇宙

令和5年度プロフェッショナル転校生、ニットアーティストの力石 咲(ちからいし さき)さんとの交流

【教育総務課】

＜交流人口拡大に繋がる企画を＞

Q 図書館やアーカイブ・ミュージアムにおいて、リピーターがいるように感じる。今後も交流メインのイベント等を考えているか。

A 先日も企画展の中でのトークイベントに町内外からお客さまにおいでいただきました。定期的で開催しているワークショップにおいても多くの方にご参加いただいております。今後も関係人口・交流人口等の拡大に繋がるよう努めます。

【生涯学習課】

＜子育て世帯への支援事業について＞

Q 令和6年度予算に計上の、家庭教育支援事業の内容は。家庭教育に関する事業は、乳幼児だけではなく、小中学生の子育て世帯にも参加してもらえよう、事業開始の際はしっかり周知してもらいたい。

A 子育て支援団体等とも連携しながら、保護者同士のコミュニケーションの場を作りたい考えです。親子イベント等、子育て世帯の保護者やさくらスポーツ等からも話を聞きつつ事業を進めます。

【生涯学習課】

産業厚生常任委員会

産業厚生常任委員会が調査した主な事業について報告します。

- 産業振興課
- 都市整備課
- 農業委員会
- 生活環境課
- いわき支所
- 郡山支所
- 福祉課
- 健康づくり課

【所管課】



※常任委員会とは②

全議員が必ずどちらかの常任委員会に所属します。
行政視察や事業の現地視察も実施します。

＜助成金の対象を確認＞

Q 定住化促進対策新築住宅助成金の対象は新築だけか。

A リフォーム等も含め対象となります。

町HPから確認できるっぴ♪



【都市整備課】

＜コミュニティ維持のための施策について＞

Q 町外コミュニティ維持事業におけるサークル活動のサポート事業の内容は。
また、令和6年度の計画は。

A 郡山地区で集まることができる場所が少ないという声があったことから、町民が集まり趣味の活動などで利用できるよう、公民館の利用料を負担する事業です。
今後は個人向けも残しつつ、郡山地区で活動する団体も対象とするよう検討し、PRしていきます。



【郡山支所】

＜予防接種事業の周知について＞

Q 予防接種事業において、風疹の抗体検査や子宮頸がん予防ワクチンの接種を促すための周知等は。

A それぞれ対象者へのお知らせを通知しています。
風疹の追加的対策として、来年度が最後ということもあるので抗体検査未受検者には改めて勧奨通知を送付します。

【健康づくり課】

＜桜の開花に合わせたイベントの予定は＞

Q 昨年同様、本年も桜の開花が早いと予想されている。桜まつりの日程を変更するのは難しいと思われるが、満開の時期に合わせて何か計画があるか。

A 震災前同様、観光協会と協力してイベント前から露店等が出店できるよう公募し、現在10店舗ほど申し込みがあります。



令和5年4月1日に行われたプレイベントは、満開の桜の下たくさんの人で賑わった

【産業振興課】

＜駐車場の確保を＞

Q 桜まつりの会場である夜の森公園まで長く歩かなくてもいいように、空き地や宅地も利用した駐車場の配置等を。

A 夜の森公園周辺の空き地、宅地の利用については地権者と調整していますが、駐車台数確保のため、例年通りの駐車場からシャトルバスを運行することで高齢者等に負担とならないよう実施していきたい考えです。

【産業振興課】

＜町内の安全安心のための事業は＞

Q 令和6年度における防火防犯パトロール事業の主な内容は。

A 主に、以下の大きな3つの委託業務を中心に予算を計上しています。

- ①夜間パトロール中心の町内警備委託
- ②町内居住者に特化した訪問パトロール委託
- ③点・線拠点解除に伴う24時間365日体制の常駐警備委託



【生活環境課】

コンセプトは… 町内での暮らしに、“楽しみによる心の豊かさ”を

答 産業振興課長
富岡町内だけではなく、近隣自治体の状況もつかみながら、しっかりと努めます。

問 温泉施設は近隣自治体にも整備されている。共通してないものを補うということも必要では。(高野匠美)

答 企画課長
こちらの施設については、集客に加え夜の森地区の核として整備したいものです。健康増進に資するために、遊歩道やランニングコース、サイクリングコース、そういったもので人が回れるような計画を策定したいとも考えており、そのためにはこの施設もぜひ利用していただきたく計画に組み込む予定です。

問 現在の夜の森地区に核となる施設は必要と考えるが、施設単体で考えるのではなく、駅や公園、地域全体を組み入れたプランニングを示していくことで、施設の在り方や必要性が明確になってくる。整備に向けたスケジュールの中で、議会に対して適宜詳細な報告をしてもらいたい。(渡辺正道)

答 産業振興課長
収入のシミュレーションは行政の積算とならぬよう民間企業からご指導をいただきたいと思っています。

問 温泉施設を造ることに反対はしないが、今後の人口や施設の収入のシミュレーションをしっかりと行い、見合った規模の施設を造るべきと考えるが。(渡辺三男)

答 産業振興課長
温泉施設があり、買い物環境があつて、互いにお客様が行きかう形が理想であり、買い物環境だけでは弱く感じています。精査が必要な部分もありますので、今後更にシミュレーションしていきます。

問 買利物環境の要望は多く聞かれますが、温泉施設に関しては慎重な声が多い。若者など、移住先として選んでもらえるような施設にするなど、温泉施設をどのように展開していくのか等、議論も含めながら行うべきと考えるが。(佐藤啓憲)

答 産業振興課長
買利物環境の要望は多く聞かれますが、温泉施設に関しては慎重な声が多い。若者など、移住先として選んでもらえるような施設にするなど、温泉施設をどのように展開していくのか等、議論も含めながら行うべきと考えるが。(佐藤啓憲)

問 買利物環境の要望は多く聞かれますが、温泉施設に関しては慎重な声が多い。若者など、移住先として選んでもらえるような施設にするなど、温泉施設をどのように展開していくのか等、議論も含めながら行うべきと考えるが。(佐藤啓憲)

答 産業振興課長
買利物環境の要望は多く聞かれますが、温泉施設に関しては慎重な声が多い。若者など、移住先として選んでもらえるような施設にするなど、温泉施設をどのように展開していくのか等、議論も含めながら行うべきと考えるが。(佐藤啓憲)

問 買利物環境の要望は多く聞かれますが、温泉施設に関しては慎重な声が多い。若者など、移住先として選んでもらえるような施設にするなど、温泉施設をどのように展開していくのか等、議論も含めながら行うべきと考えるが。(佐藤啓憲)

答 産業振興課長
買利物環境の要望は多く聞かれますが、温泉施設に関しては慎重な声が多い。若者など、移住先として選んでもらえるような施設にするなど、温泉施設をどのように展開していくのか等、議論も含めながら行うべきと考えるが。(佐藤啓憲)

問 買利物環境の要望は多く聞かれますが、温泉施設に関しては慎重な声が多い。若者など、移住先として選んでもらえるような施設にするなど、温泉施設をどのように展開していくのか等、議論も含めながら行うべきと考えるが。(佐藤啓憲)

【令和5年度第2回リフレ富岡跡地の利活用について】

令和6年1月26日開催の全員協議会において、リフレ富岡跡地(夜の森地区)の利活用について、行政区長会や町政懇談会等でいただいた皆さまからのご意見や施設のコンセプト等について町から説明があり、質疑応答が行われました。

町からの提案

【物販施設(買い物環境)】

延床 約400㎡
※コンビニ2店舗程度

【温浴施設】

延床 約600㎡
※コンビニ3店舗程度

【駐車場】

200台以上 など

【配置の考え方】

車両での来館を想定し、駐車場への入りやすさを重視しつつ、隣接する土地への配慮を。

- アクセスしやすい位置に広めの駐車場。
- 駐車場を取り巻くよう施設を配置。
- 道路沿いに商業機能を配置し近隣に賑わいを創出。

議員が切り込む!! 質疑応答



【施設の必要性に疑問】

問 夜の森地区への帰還・移住者について先の見通しがつかない現状で施設を造ることに疑問を感じる。(宇佐神幸一)

答 産業振興課長

近隣自治体においても施設整備がなされていることは、ニーズがあるものと考えています。DBO(公設民営)方式で施設整備を進める中で企業への条件提示について整理をしており、試算し調査等を進め、適宜議会にも説明を行いたいと考えています。

【既存の温泉の活用を】

問 夜の森地区の今後の発展と富岡町に人を呼び込む施策として、核となる特徴的な施設が必要である。既存の温泉をつまく利用して、ゆつたりでき心が癒される施設となるよう、行政が牽引して挑戦してもらいたい。(遠藤一善)

答 産業振興課長

大人も子どももゆつたりできる空間作りができるよう、施設の整備を進めていきます。

【温浴施設は不要では】

問 買利物環境の整備は必要と考えるが、物価高による光熱水費や人件費の値上げ等により、それを賄えるだけの利用者が見込めるのか疑問がある。廃炉交付金が今後減少していくことも鑑みると、将来の町の財政を見据え、維持管理費が大きい温浴施設という収入と支出のバランスに不安がある施設の整備は不要と考える。(佐藤教広)

答 産業振興課長

今回整備するのは、富岡町で生活する方々、近隣で生活する方々に、ごんまりとした部分でしっかりとゆつたりした空間であつたり、心の安らぎや豊かさを提供したいというものです。買利物環境を整えるだけで満足な集客とはならないと考えており、相乗効果の流れが必要と考えます。財政面につきましては、整備関係は基金を活用します。運営面につきましては企業による営業が大事です。その分を地元の雇用やサービス転換にする流れも必要と考えますのでしっかりと詰めていきます。

答 産業振興課長

生活に必要な買利物環境という部分は早期にとという声があることは認識しています。様々な課題がありますが、事業の展開と並行しながらでも進める必要があると考えるので、取り組んでいきます。温泉施設の計画につきましては、全協等の場ですっきりと説明しながら進めます。

【複合的な視点で計画を】

問 サイクリングやマラソン、散歩コースの整備に対して温浴施設というのは非常にメリットがある等、抱き合わせた計画をしてもらいたい。(堀本典明)

答 町長

様々なイベントにおいての交流の場になり収益性も上がる可能性があると考えます。県や近隣町村とも連携し、情報を掴みながらやっていければと思います。

【何が優先の優先順位を】

問 優先順位を考えれば、夜の森地区には買利物環境が上位に入るが、温泉施設についてはもっと人口が増えてからでもいい



3月1日開催

1月26日開催

◆除染解体工事及び中間貯蔵施設への輸送並びに特定廃棄物埋立処分事業の状況について

(環境省)

問 面拠点(夜の森地区)の解体申請が4月1日までの期限となつているが、相続関係やその他諸事情があり4月1日までに申請ができない場合、期限を延ばしてもらふことは可能か。(堀本典明)

答 環境省 様々ご事情がある場合も承知しており、場合によっては仮申請として受け付けることも考えられますので、まずは期限までに窓口へご相談ください。

問 今後、特定帰還居住区域の解体に進んでいく。点・線拠点とは違い人が住む場所なので、帰還者が安心して住めるよう今までの上につきかりとした除染を心掛けてもらいたい。(佐藤教宏)

答 環境省 帰還者の安心のためにも、丁寧な除染をしていきます。

問 線量低減につながるのであれば宅地の木も伐採すべき。居住区域がきれいになることで帰還者の増加に繋がると。(渡辺三男)

答 環境省 立木の伐採は現場ごとに状況が違ふため、それぞれ確認・相談しながら対応していきます。

問 特定廃棄物埋立処分施設への埋立処分が令和5年10月末に終了し、今後4年間は生活ごみの搬入となるが、覆土後は緑にするという計画はいつからの予定か。(遠藤一善)

答 環境省 具体的なスケジュールは未定ですが、粉塵が舞わない対策をしっかりやりつつ、スケジュールが見えた段階でご報告します。

◆富岡町特定帰還居住区域復興再生計画案について

(企画課)

問 今回、特定帰還居住区域復興再生計画の範囲に入れられなかった宅地や公道について、次回の認定では範囲に入れられるよう引き続きの努力を。(安藤正純)

答 企画課 全域の避難指示解除を目指して、少しでも多く区域に設定できるように努力していきます。

問 解除の際は集会所や消防屯所等のインフラができあがっているような計画を立てることで帰還を促すことができるか。(渡辺三男)

答 企画課 集会所や消防施設は重要なものと認識しています。今後の維持管理等について地域の皆さまと意見交換が必要と考えますので、町としても積極的に動いていきます。

問 避難指示解除の時期が明言できないことは承知だが、外縁除染との兼ね合いで解除までのスケジュールを。(堀本典明)

答 企画課 認定を受けた後に町・国・県と復興を推進する会議体を設ける考えです。その中で具体的な取組や工程等をすり合わせいき、なるべく早い周知ができるよう進めます。

問 復興再生計画の認定後に、しっかりと国と協議して解除時期の目標設定をしてもらいたい。確実な除染を要望することに加えて、町はインフラの復旧と町民への周知を早期に行ってもらいたい。(堀本典明)

答 企画課 認定を受けた後に町・国・県と復興を推進する会議体を設ける考えです。その中で具体的な取組や工程等をすり合わせいき、なるべく早い周知ができるよう進めます。

問 ジュールがずれこんでくる恐れもある。目標の年数は、ある程度設定すべきと考えるが。(遠藤一善)

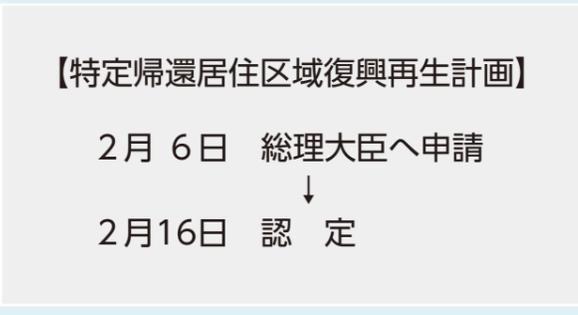
答 高野副町長 避難指示解除の見通しは重要であると考えますが、除染により帰還する方の安全・安心を確保することが最も重要であり、線量の低減を確認し、そこで解除の見通しを立てていくことになろうかと思えます。

問 特定帰還居住区域復興再生計画の認定後に、しっかりと国と協議して解除時期の目標設定をしてもらいたい。確実な除染を要望することに加えて、町はインフラの復旧と町民への周知を早期に行ってもらいたい。(堀本典明)

答 高野副町長 避難指示解除の見通しは重要であると考えますが、除染により帰還する方の安全・安心を確保することが最も重要であり、線量の低減を確認し、そこで解除の見通しを立てていくことになろうかと思えます。

問 確実な除染と、なるべく早い段階で解除ができるようスピード感を持って進めてもらいたい。(佐藤教宏)

答 高野副町長 スピード感を持つことと、除染の効果をしつかり出すことについては必ず実施してもらい、町としてもしっかりと確認をしていくという形で進めます。



◆富岡町放課後児童クラブ施設の設置等条例について

(教育総務課)

問 富岡小学校へ通学する児童は全員、放課後児童クラブ施設の利用ができるのか。(遠藤一善)

答 教育総務課 富岡小学校に通っていて、富岡町に住所を有している方は、全員施設での活動が可能です。



4月3日に開所した放課後児童クラブ(富岡小・中学校西側)

◆東日本大震災等による被災者に対する令和6年度の町税等の減免に関する条例について

(税務課)

問 家屋の解体時期によっては、次年度の固定資産税がかかる場合があるのでは。(遠藤一善)

答 税務課 解体申請の受付後であれば令和7年度の課税対象にはならない見込みです。旧特定復興再生拠点区域の固定資産税につきましては令和6年度から3年間は国の地方税法に基づき2分の1課税、令和9年度からは通常課税に戻ります。ただし、令和6年度につきましては町条例に基づき減免となります。



◆点・線拠点外縁の除染、解体について

(環境省)

問 小良ヶ浜の墓地周辺は点・線拠点解除の段階で線量が高かったが、植生土嚢の敷きつめの効果はあったのか。(渡辺三男)

答 環境省 場所によっては5割程度の低減が見られる箇所があり、全体的に大幅な低減がありました。

問 進捗状況の見える化により住民の方の安心材料になると考えるので、公表しながら周知を。(佐藤啓憲)

答 環境省 個人情報に関係するところに配慮しながら、進捗状況など皆さまに周知できるよう努めます。



組織改編

新議会体制決定!!

富岡町議会議員紹介

①議席番号 ②当選回数 ③氏名 ④議会での主な役職等



①1番 ②4回
③安藤 正純
④副議長
総務文教常任委員会委員
議会運営委員会委員
原子力発電所等に関する特別委員会委員



①2番 ②1回
③辺見 珠美
④産業厚生常任委員会委員
議会広報特別委員会副委員長
原子力発電所等に関する特別委員会委員
双葉地方水道企業団議会議員



①3番 ②1回
③平山 勉
④総務文教常任委員会副委員長
議会広報特別委員会委員
原子力発電所等に関する特別委員会委員



①4番 ②2回
③佐藤 啓憲
④産業厚生常任委員会副委員長
議会運営委員会副委員長
議会広報特別委員会委員長
原子力発電所等に関する特別委員会委員
双葉地方水道企業団議会議員



①5番 ②3回
③渡辺 正道
④産業厚生常任委員会委員長
議会運営委員会委員
原子力発電所等に関する特別委員会委員
双葉地方広域市町村圏組合議会議員



①6番 ②3回
③高野 匠美
④総務文教常任委員会委員
議会運営委員会委員長
議会広報特別委員会委員
原子力発電所等に関する特別委員会副委員長
双葉地方広域市町村圏組合議会議員



①7番 ②4回
③宇佐神幸一
④総務文教常任委員会委員長
議会運営委員会委員
原子力発電所等に関する特別委員会委員



①8番 ②8回
③高橋 実
④産業厚生常任委員会委員
原子力発電所等に関する特別委員会委員



①9番 ②8回
③渡辺 三男
④総務文教常任委員会委員
原子力発電所等に関する特別委員会委員長



①10番 ②4回
③堀本 典明
④議長
産業厚生常任委員会委員
双葉地方広域市町村圏組合議会議員

全議員の力を集結!

—富岡町の復興に向かって着実に!!—

改選後、初の議会となる令和6年第2回臨時会が4月5日に召集され、議会組織構成を決定しました。

議長・副議長の選挙を行った結果、議長に堀本典明議員、副議長に安藤正純議員が選出されました。

また、各委員会の選任をはじめ、双葉地方広域市町村圏組合及び双葉地方水道企業団の議会議員の選挙や、各審議会等の委員の推薦を行いました。



《任期》令和6年3月31日から令和10年3月30日まで



議長
堀本 典明



副議長
安藤 正純

堀本典明議長就任挨拶

町民の皆様には、平素から町議会に対しまして、深いご理解とご協力を賜り、心から感謝申し上げます。このたび、改選後の初議会におきまして、議員各位のご推挙を賜り、議長に就任いたしました。誠に身に余る光栄であり、心より感謝いたします。誠に、その責務の重大さを痛感し、身の引き締まる思いでございます。公正かつ円滑な議会運営のため、全力で職責を果たす覚悟を持って、誠心誠意努めてまいります。

富岡町では、避難指示解除が進んでおりますが、同時に多くの課題が浮き彫りになっております。課題解決に向け、町執行部、国、県、関係機関と議論を重ね、町の復興を後押ししてできるよう取り組んでまいります。

これからの町を担う子どもや若者が希望を持ち、高齢者が安心して暮らせる町づくりをするため、活力と魅力にあふれ、安全で安心できる住みやすい町づくりを進めていくことを目標に、町民の皆様の負託に応えるべく、最善の努力を尽くしていく所存でございます。

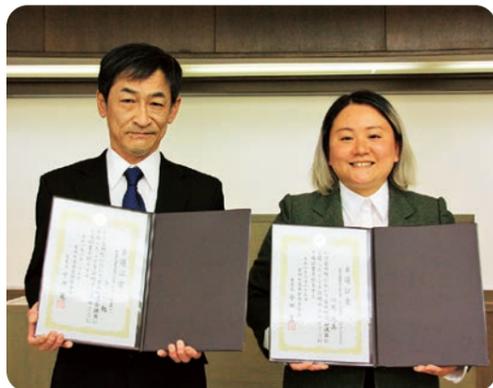
今後とも、議会の活動につきましてご指導、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。ご就任の挨拶とさせていただきます。

初当選議員の抱負

委員会等構成メンバーが決定!

皆さんこんにちは。この度富岡町議会議員として当選させていただきました平山勉です。震災後、情報発信やボランティア、コミュニティ再構築など、地域のために民間で活動してきた道程を、今度は町政の場に移して新たにチャレンジすることになりました。

まずは町民一人ひとりの声に耳を傾け、皆さんと共により良い富岡町を作っていくために尽力して行く所存です。見かけましたら気軽に声を掛けください。よろしくお願ひします!



平山 勉 議員
中央行政区
【学歴】:
富岡第一中学校
磐城高等学校
武蔵野音楽学院 卒

辺見珠美 議員
東京都出身
【学歴】:
武蔵工業大学
工学部環境エネ
ルギー工学科 卒

この度は、皆さまの温かいご支援をいただき、富岡町議会議員一般選挙にて初当選させていただきました。本当に感謝の気持ちで胸がいっぱいです。心よりお礼を申し上げます。

私の持ち味は、「素直さ」と自負しています。皆さまの期待に応えられるよう、素直で真つすぐな心で活動していきたいと思えます。富岡町の暮らしそのものが楽しく、ワクワクするような、そんな町づくりを目指していきます。若輩者ではありますが、どうぞご指導ご鞭撻を賜りますよう宜しくお願い致します。

※ ◎委員長 ○副委員長



左から 渡辺三男・高野匠美・◎宇佐神幸一・○平山勉・安藤正純

総務文教常任委員会
委員長 宇佐神幸一
副委員長 平山 勉



左から 高橋実・辺見珠美・◎渡辺正道・○佐藤啓憲・堀本典明

産業厚生常任委員会
委員長 渡辺 正道
副委員長 佐藤 啓憲

双葉地方広域市町村圏組合議会議員

堀本典明 ・ 高野匠美 ・ 渡辺正道

双葉地方水道企業団議会議員

辺見珠美 ・ 佐藤啓憲

条例に基づく各種委員

- ◇富岡町都市計画審議会委員 [渡辺三男 ・ 堀本典明]
- ◇富岡町青少年問題協議会委員 [平山 勉 ・ 安藤正純 ・ 佐藤啓憲]
- ◇富岡町総合開発審議会委員 [宇佐神幸一 ・ 渡辺正道]
- ◇富岡町民生委員推薦会委員 [高野匠美 ・ 辺見珠美]
- ◇富岡町水防協議会委員 [渡辺正道]



佐藤啓憲議員

【監査委員の選任】
議員から選任される監査委員に、佐藤啓憲議員を選任することで可決しました。任期は議員の任期となる4年間です。

(4月臨時会)
賛成多数・原案可決

人事



◎渡辺三男・○高野匠美

※議長以外の全議員が構成委員になります



原子力発電所等に関する特別委員会



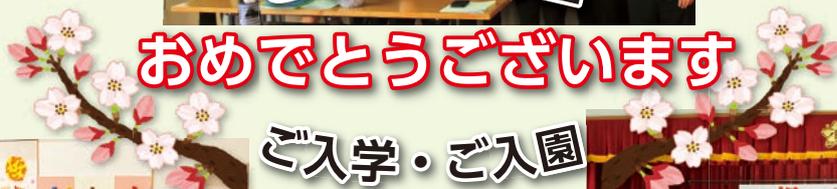
宇佐神幸一・安藤正純・◎高野匠美・
○佐藤啓憲・渡辺正道



高野匠美・◎佐藤啓憲・○辺見珠美・平山勉

議会運営委員会

議会広報特別委員会



議会を傍聴しませんか？

- 6月定例会は、19日(水)～20日(木)の会期で開催する予定です。
- 所定の用紙に、住所(市町村名まで)・氏名・性別・年齢を記入いただくだけで、どなたでも傍聴することができます。
- 審議日程など、詳細については議会事務局までお問い合わせください。
議会事務局 ☎0240-22-2111(代表)



編集後記

今年、14年ぶりに夜の森公園をメイン会場として、県内外から大勢のお客様をお迎えし、盛大に桜まつりが開催されました。表紙の写真は、たくさん笑顔があふれ、花見を楽しみほほえましい様子です。皆さんもご覧になられたでしょうか。さて、夜の森地区の復興再生拠点区域が解除されて1年が経ちましたが、まだまだ解決すべき課題は山積しております。今後は全町避難解除に向けて、小良ヶ浜・深谷地区の除染・解体を町執行部と共に議員全員で取り組んで参ります。

今回の「議会だより」は、改選後の新メンバーでの編集となりました。これまで以上に町民の皆さんに読んでいただけるよう努めて参りますので、何卒よろしくお願ひします。

(佐藤 啓憲)

発行責任者

議長 堀本典明

議会広報特別委員会

委員長 佐藤啓憲

副委員長 辺見珠美

委員 平山 勉

委員 高野匠美

FSC® の基準に従って認証され、適切に管理された森からの木材を含んだ用紙を使用して印刷しています。

